

アートボランティア なるには？

NEW アートコミュニケーター
よりより

応募条件

- 18歳以上の方(2023年4月時点。高校生不可)
- インターネットにアクセスでき、スマートフォンやパソコンなどでメールの送受信ができる方
- 日本語での日常会話が可能な方
- 下記の養成研修に原則すべて参加できる方
- 月に1回以上活動に参加できる方
- 当館のボランティア事業の趣旨を理解し、賛同していただける方

※アートボランティアとアートコミュニケーター「よりより」は併願可能です。登録期間や研修期間などが異なりますので、ご確認の上ご応募ください。

応募方法

応募用紙を郵送するか、当館ウェブサイトから書式をダウンロードしてメールに添付してお送りください。



長崎県美術館ウェブサイト[ボランティア]

募集受付期間 2023年10月15日(土) ~ 2024年1月9日(火) (必着)

- 応募は郵送・メールのみ受け付けます。当館へのご持参などはご遠慮ください。
- 提出していただいた応募用紙は返却しません。
- ご記入いただいた個人情報は、募集の目的以外には使用しません。ただし当館の記録として、個人が特定されない形で属性などを算出し掲出する場合があります。

〒850-0862
長崎県長崎市出島町2番1号
長崎県美術館 ボランティア担当
※封筒の表に「ボランティア応募用紙
在中」と明記してください。

art-vol@nagasaki-museum.jp
※件名に「ボランティア応募(氏名)」と明記してください。

選考方法

1次選考:書類審査

選考結果は1月中旬に応募者全員にメールでお知らせします。

2次選考:面接

2024年2月3日(土)~6日(火)実施予定
選考結果は2月中旬に2次選考対象者全員にメールでお知らせします。

養成研修

2024年4月から5月にかけて、アートボランティアと「よりより」の合同養成研修を行います。内容は活動の方針、当館の概要、建築、コレクション、来館者対応などについてです。6月からは「よりより」の研修として、作品鑑賞や対話の場のつくり方など、おしゃべり鑑賞や館内ツアーに向けた講座と模擬実践などを行います。

アートボランティア・よりより
合同養成研修
(各日10:00~12:00 予定)

4月…… 6 sat 13 sat 20 sat 27 sat
5月…… 18 sat 25 sat

よりよりのみ
(各日13:00~15:00 予定)

6月…… 15 sat 9月…… 14 sat 28 sat
7月…… 13 sat 27 sat 10月…… 12 sat
8月…… 10 sat 11月…… 9 sat

活動にあたって

- アートボランティアと「よりより」の活動は無償です。
- 公共交通機関で来館される方には交通費の支給があります(1日の上限1,000円)。※面接時、養成研修時は支給されません。
- 2024年4月からボランティア保険に加入していただきます(費用は美術館が負担)。
- 1回の活動時間は2~3時間程度です。

交通アクセス



- 路面電車/出島電停より徒歩3分・メディカルセンター電停より徒歩2分
- バス/「新地中華街」下車徒歩5分 / 「長崎県美術館」下車(土・日・祝)
- JR/JR長崎駅より徒歩15分
- 車/長崎自動車道・長崎ICよりながさき出島道路経由で約5分
- 提携駐車場/美術館内で有料施設(企画展、コレクション展、カフェ、ミュージアムショップ等)をご利用の方は地図Pの駐車料金を割引いたします。

問い合わせ先

長崎県美術館 ボランティア担当
TEL 095-833-2110
Eメール art-vol@nagasaki-museum.jp

長崎県美術館
長崎県長崎市出島町2番1号 〒850-0862
TEL:095-833-2110 www.nagasaki-museum.jp

長崎県美術館
Nagasaki Prefectural Art Museum

アートボランティア 募集



2023年10月15日(土) ~ 2024年1月9日(火) (必着)
募集受付期間



気軽に
お申し込み!

活動説明会(当日受付)

11月7日(火)
18:00~19:30
(17:45開場)

11月25日(土)
10:30~12:00
(10:15開場)

場所
長崎県美術館アトリエ
※両日同じ内容で実施します。

よりより

長崎県美術館のボランティア

長崎県美術館は、子どもから大人まで、来館するさまざまな人にとって居心地が良く、楽しい美術館とはどんな場所か、スタッフと一緒に考えながら美術館をつくるボランティア事業を2005年の開館以来続けています。現在まで累計270名のアートボランティアに支えられてきました。そして19年目の今、

ボランティア活動の幅を広げるため、新たにアートコミュニケーター「よりより」をスタートさせます。学生や社会人、退職後の方など、仕事も世代も異なる人たちが集う長崎県美術館のボランティア。アートや人との出会いを楽しみながら、美術館をつくり、作品と人をつなぐ活動をしてみませんか？

アートボランティア

美術館には調査研究や展覧会、教育プログラム、広報活動や施設管理などさまざまな活動があります。そんな美術館の活動をスタッフと一緒に支える「アートボランティア」を募集します。



活動内容



教育プログラムのサポート

美術館での学びを深めるためのワークショップや学校向けプログラムの準備、補助など

広報サポート

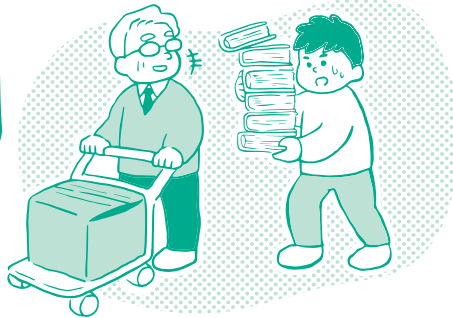


展覧会を広く知ってもらうためのポスターやチラシの発送作業、ボランティア通信の企画・編集など



美術情報収集

作品や作家の調査研究に役立つ新聞記事のスクラップ、図書の登録、書庫の整理など



その他

情報コーナーの利用者対応、イベントサポート、バナーバッグ製作・チャリティー販売活動*など

*展覧会終了後に役目を終えたバナー(垂れ幕)の生地でバッグを手作りしチャリティー販売する活動です。売上金は文化財の保全や災害復旧等の支援のために寄付されます。



活動中のボランティアさんの声

- 展覧会の舞台裏を知れて面白い!
- 子どもたちや来館者との活動はいつも新鮮!
- 美術館の研究室には古い書物や洋書などがあり見ているだけでワクワクします。

募集人数

35名

登録期間

最長6年間

年度ごとに更新手続きをします。

NEW

アートコミュニケーター

よりより始めます!

よりよとは?

「よりより」は、みんなで一緒に作品を鑑賞する「おしゃべり鑑賞」、館内を巡る「館内ツアー」を通して、来館者のさまざまな美術館体験をサポートします。「よりより」という名前には、多くの人が美術館に寄り集まって、長崎で親しまれる中華菓子「よりより」のようにいろいろな考えや発想を擦り合わせ、作品の多様な見方を発見することで美術をみんなでより楽しもうというメッセージが込められています。



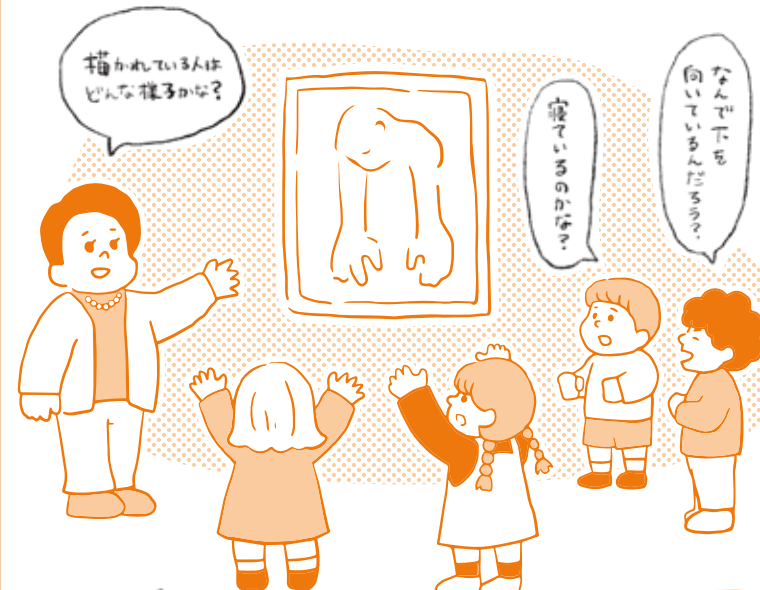
主に学校団体で来館する子どもたちを対象に、展示室での「おしゃべり鑑賞」と「館内ツアー」を行います。子どもたちの発言を大切にするために、10人以下の少人数のグループに分かれて活動します。

活動内容



おしゃべり鑑賞

作品に描かれていること、そこから想像できることなどを対話によって展開させていく鑑賞方法です。作品の情報だけに頼らず、子どもたちが自分の目で見て感じたこと、考えたことを大切にしながら作品の面白さを発見します。



館内ツアー

隈研吾の建築デザインや屋上から見える長崎港の風景、屋外彫刻など、長崎県美術館の見どころをツアー形式で紹介します。



募集人数

20名

登録期間

最長3年間

年度ごとに更新手続きをします。

よりよりはこんな人を募集!

- 人とのコミュニケーションが好き!
- 作品のさまざまな見方を楽しみたい。
- 楽しくお話しができる場づくりについて知りたい。